

第6学年 社会科学学習指導案

1. 単元名 「戦争から平和へ」 小単元(2)「平和で豊かな暮らしをみざして」

2. 指導観

- 本学年の子どもは、国家・社会の発展に大きな働きをした歴史上の人物について調べることを通して、それぞれの先人がその時代の課題を解決するために、様々な知恵を出し合い、工夫や努力を重ね大きな働きをしてきたことに目を向けて学習に取り組んできた。多くの子どもは、教科書や資料から必要な情報を読み取ることはできている。しかし、読み取った事象からその意味を考えたり、自分の考えを発言したりする力には個人差が見られる。
- 本小単元は、小学校学習指導要領社会科第6学年の内容(1)ケを基に設定した。この内容は日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かるようにすることをねらいとしている。新学習指導要領解説内容(2)キ「過去の出来事を基に現在及び将来の発展を考えたりするなど、歴史を学ぶ意味を考えるようにすること。」とあるように、戦争中の被害や他国に与えた損害に触れ、戦後日本が目ざした社会について、平和で民主的な豊かな国の確立と発展に努めてきた人々の願いや努力を理解し、これからの日本の在り方について考えることができるようにする。
- 指導に当たっては、以下の手立てを講じる。

(1) 主体的・対話的で深い学びを実現する問題解決的な学習過程

つかむ段階では、戦後すぐの日本の様子の写真と1964年東京オリンピックが開催された頃の写真を比較し、戦後19年の社会の変化に目を向けることで、学習問題を設定し、オリンピックが開催されるまでに至った社会や人々のくらしの変化について予想し、学習計画を立てるようにする。

さぐる・まとめる段階では、子どもの予想を基に3つの視点「社会の変化」「国際社会への復帰」「産業の発展と国民生活」を設定し、資料を活用して具体的に調べ、調べた事象を基にその意味を考える時間を確保する。その上で当時の国民の思いや願いを1964年の東京オリンピック開催時のメッセージとして表現することで、戦後の社会や人々のくらしの変化についての理解を深めるようにする。さらに、1964年の東京オリンピック写真と2020年の東京オリンピック・パラリンピック予想図を比較することで、「1964年以降の社会や人々のくらしの変化」について、新たな問いが生じるようにする。1964年東京オリンピック以降の社会や人々のくらしの変化を調べる際には、「社会の変化」や「外国との関係の変化」「国民生活の変化」の3つの視点から変化の様子を捉えることができるようにする。

いかす段階では、戦後すぐから1964年東京オリンピックまでの社会や人々のくらしの変化と東京オリンピック以降から現在までの社会や人々のくらしの変化を比較したり、2020年東京オリンピック・パラリンピックで伝えたいことを国民の一人として表現したりすることで、これからの日本の在り方について考えるようにする。

(2) 対話を促す学習活動の工夫

① 問いの焦点化の工夫

本小単元の指導に当たっては、戦後から現在に至る社会や人々のくらしの変化について、1964年東京オリンピックと2020年東京オリンピック・パラリンピックのメッセージを考えることを通して、問いの焦点化を図るようにする。

事例1では、1964年に東京オリンピックを開けるまでになった我が国の社会や人々のくらしの変化を、調べたことを根拠にして表現できるように「1964年の東京オリンピックには、当時の人々のどの

ような願いがこめられていたのだろう。」と問いを焦点化する。

事例2では、1964年東京オリンピック以降の社会や人々のくらしの変化について発表し合い、「2020年東京オリンピック・パラリンピックで国民の一人として世界の人々にどのようなことを伝えるべきだろう。」と問いを焦点化する。

② 話し合い活動の工夫

調べたことを基に、メッセージを考える場面で、話し合い活動を設定する。その際には、調べたことを発表し合ったり、社会や人々のくらしの変化について、友達の発表と比べて自分の考えをノートに書いたりして、互いの意見を出し合い、話し合っていくようにする。付箋を活用して考えを整理したり、ホワイトボードを活用して関係図に表したりして、話し合ったことが視覚化できるようにする。

(3) 指導に生かす評価の工夫

本小單元では、学習の中で取り扱った社会的事象が暮らしの向上や国力の充実、国際的地位の向上に向けて「どのような成果があったのか」「どのような課題が残されているのか」などふり返りの視点を明確にして、毎時間記述するようにする。こうしたふり返りにより、学習前と学習後の自分の考えの変容やさらに疑問に思ったことや調べたいことを、次時の活動に活かすようにする。

3. 特別な教育的支援を要する児童に対する指導上の工夫・手立て

困難さ	手立て	対象児童	番号
予想や学習問題を立てることが困難	見通しがもてるようヒントとなる事実をキーワードにして考えるように支援する。	A児	①
資料から必要な情報を読み取ることが困難	資料の読み取る範囲を限定したり、必要な情報に線を引いたりする。	A児 B児	②
調べたことを基に社会的事象の意味を考えることが困難	調べたことのどこに注目すればよいか、助言する。	A児 B児 C児	③

4. 小単元の目標

社会的事象への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 戦後の歩みに関心をもち、進んで調べようとしている。 ○ 平和で民主的な国家の一員として、これからの日本の課題やよりよい発展を考えようとしている。
社会的な 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 戦後の日本の社会や人々の暮らしの変化について、学習問題や予想、学習計画を考え、表現することができる。 ○ 戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たすようになってきたことを考え、表現することができる。 ○ 戦後、日本が目ざした社会について平和で豊かな国の確立と発展に努めてきた人々の願いや努力について考え、これからの日本の在り方について考え、表現することができる。
観察・資料活用の 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図や年表、資料などを活用して、日本国憲法の制定、オリンピックの開催など、我が国の戦後の歩みについて必要な情報を集めて読み取ったり、まとめたりすることができる。
社会的事象についての 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ○ 戦後、我が国が民主的な国家として出発し、産業の発展による国民生活の向上や国際社会の中で重要な役割を果たしていることについて理解する。

5. 指導計画と評価計画（総時数8時間）






	主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点 ★ 特別な教育的支援を要する児童への特に困難とされる場面での支援	評価規準及び評価方法
つ か む	1. オリンピックについて知っていることを話し合ったり、焼け野原の東京とオリンピック開催時の東京の写真を比較したりして、戦争後の社会の変化に関心を持ち、学習問題を設定する。 ①	○ オリンピックがスポーツを通して世界の国々が集まる平和の祭典であることに気付くことができるように、写真や資料等を活用して話し合う場を仕組む。 ○ 戦後19年間でオリンピックが開催できたのはどうしてだろうという問題意識をもつことができるように、終戦直後と19年後の東京の写真を比較し、その変化の理由を予想し学習問題を設定する。 ★ 手だて①	【関】 戦後の日本のあゆみに関心を持ち、学習問題を考えている。 (ノート、発言) 【思】 戦後の社会や人々のくらしの変化について予想し、調べる計画を立てている。 (ノート、発言)
	(学習問題) 戦後、人々はどのように暮らしや社会を立て直していったのだろう。		
さ ぐ る ・ ま と め る	2. 東京オリンピックが開かれるまでに発展した日本の様子について調べる。 ①	○ 3つの視点「社会の変化」「国際社会への復帰」「産業の発展と国民生活」について、教科書や資料集から必要な情報を収集し、ノートに調べたことをまとめるようにする。 ★ 手だて②	【技】 戦後の歩みについて必要な情報を集めて読み取ったり、まとめている。(ノート)
	3. 戦後すぐから1964年の東京オリンピックまでの社会や人々のくらしの変化について話し合う。 (1) 調べたことを発表し合う。 ② ・平和で民主的な国家をめざして ・国際社会への復帰をめざして ・国民生活の向上をめざして (2) 調べたことを基に、1964年の東京オリンピックのメッセージを考える。 ① 【本時1】 (6年2組)	○ 日本国憲法については、「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」を柱として制定されたことを捉えることができるように、象徴的な写真を提示し、戦前と比較するようにする。 ○ 日本が世界の国との結び付きを深め、国際社会に復帰した様子を捉えることができるように、国際連合加盟に至るまでの世界や日本の動きを年表等で確認し、日本の国際的な地位について考えるようにする。 ○ 国民生活が向上したことを実感できるように、電化製品の普及の様子の写真、グラフを提示し産業や交通の発達から生活向上につながったことを考えるようにする。 ○ 日本が平和な国としてスタートし、国民生活を向上させ、外国との関係を改善させていったことを考えることができるように、調べたことを基に1964年の東京オリンピックのメッセージを表現する活動を設定する。 ★ 手だて③	【知】 日本国憲法の基本的な理念や選挙法、教育の制度などの戦後の改革について理解している。(ノート、発言) 【知】 国際社会に復帰するまでの国内外の様子について理解している。(ノート、発言) 【知】 産業や交通の発達、国民生活の変化について理解している。(ノート、発言) 【思】 日本の発展を民主化、国際的地位の向上、国民生活の向上から世界に向けてのメッセージを考え、表現している。 (発言、メッセージ)

<p>さ ぐ る ・ ま と め る</p>	<p>4. 資料や年表を基に、1964年東京オリンピック以降の社会や人々のくらしの変化について予想する。 ①</p> <p>5. 1964年東京オリンピック以降の社会や国際関係、国民生活の変化や課題について調べる。 ①</p>	<p>○ 1964年以降の社会や人々のくらしの変化について予想できるように、1964年の東京オリンピックの写真と2020年の東京オリンピック・パラリンピック予想図を比較するようにする。 ★ 手だて①</p> <p>○ 社会や人々の生活の変化について理解できるように、「社会の変化」「外国との関係の変化」「国民生活の変化」の3つの視点から調べるようにする。 ★ 手だて②</p>	<p>【関】 現在までの社会の変化やそれにとまなう課題に関心を持ち、社会や人々のくらしの変化について予想している。(発言、ノート)</p> <p>【技】 資料や年表を使って必要な情報を読み取り、調べたことをまとめている。(ノート)</p>
<p>い か す</p>	<p>6. 調べたことを発表し合い、今日の日本の変化や課題について話し合い、2020年の東京オリンピック・パラリンピックのメッセージを考える。 ① 【本時2】 (6年1組)</p>	<p>○ 平和で豊かな社会、国際社会の中での役割について、自分の考えをしっかりとつてすることができるように、調べたことを発表し合うようにする。</p> <p>○ 調べたことを基にこれからの日本の在り方を考えることができるように、2020年東京オリンピック・パラリンピックのメッセージを話し合うようにする。 ★ 手だて③</p>	<p>【思】 友達の発表や話し合ったことを根拠にして、2020年の東京オリンピック・パラリンピックのメッセージについて考え、表現している。(ノート・メッセージ)</p>

6. 本時の学習








本時1 さぐる・まとめる段階 第4時 (於: 6年2組教室)

- (1) 主眼 東京オリンピックが開かれるまでの、戦後19年間の日本の様子や、当時の人々の願いを話し合う活動を通して、当時の国民の願いを国民生活の向上や日本が独立を回復し、国際社会に復帰していったこと、国民主権を確立できたことなどに関連付けて考えることができるようにする。
- (2) 準備 焼け野原の東京の写真、東京オリンピックの写真
- (3) 展開

主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点 【観点】 評価規準 (評価方法) ★ 特別な教育的支援を要する児童への特に困難とされる場面での支援のポイント								
1. 前時の学習をふり返り、本時の学習のめあてを話し合う。	○ 本時の学習のめあてをつかむことができるように、前時までの学習をふり返り、東京オリンピック開会式の資料を提示する。								
(めあて) 1964年のオリンピックには、当時の人々のどのような願いがこめられていたのだろうか。									
2. 東京オリンピックが開かれるまでの、戦後19年間の日本の様子について話し合う。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 戦後の焼け野原から、19年間で国の様子が大きく変わった。日本国憲法ができたし、平和条約を結んだ。 </div>	○ 東京オリンピックが開催された社会背景を関連付けて考えることができるように、「社会の変化」「国際社会への復帰」「国民生活の向上」の3つの視点で整理できるように板書する。 <table border="1" data-bbox="667 896 1444 1081"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予想される子どもの考え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会の変化</td> <td>日本国憲法、選挙法、男女平等など</td> </tr> <tr> <td>国際社会への復帰</td> <td>国際連合、戦争をしない国、平和条約など</td> </tr> <tr> <td>国民生活の向上</td> <td>電化製品、高速道路、新幹線など</td> </tr> </tbody> </table>	予想される子どもの考え		社会の変化	日本国憲法、選挙法、男女平等など	国際社会への復帰	国際連合、戦争をしない国、平和条約など	国民生活の向上	電化製品、高速道路、新幹線など
予想される子どもの考え									
社会の変化	日本国憲法、選挙法、男女平等など								
国際社会への復帰	国際連合、戦争をしない国、平和条約など								
国民生活の向上	電化製品、高速道路、新幹線など								
3. 東京オリンピックに込められた、当時の人々の願いについて話し合う。 (1) 個人で考える。 (2) グループで話し合う。 (3) 学級全体で交流する。	○ 当時の人々の願いと社会的事象を関連付けて考えることができるように、資料と結んで考えるように助言する。 ★ 手立て③ C児には、観客席の様子を表す資料を提示し、「ここにいる人は、どのような願いをもっているのだろうか。」と問いかけ、一緒にノートや板書をふり返りながら願いについて考える。 ◎ グループで話し合う際には、3つの視点を関連付けて考えることができるように、クラゲチャートを活用し、自分の考えに根拠を付け足していくようにする。								
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 平和への願いです。日本国憲法にも平和主義を訴えているし、敗戦国だからこそ、世界に伝えたいものがあったのではないかと思う。 </div> </div> <div style="width: 30%;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 日本を世界に認めてほしいという願いがあったと思う。国際社会の復帰や生活の向上が自信になったと思う。 </div> </div> <div style="width: 30%;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 日本の経済力を世界に伝えたいという願いでは。19年間の復興と、交通網や家電製品の発展は世界でも自信になったと思う。 </div> </div> </div>									
(まとめ) 1964年のオリンピックには、民主的な国をつくり国際社会に復帰するとともに、国民生活を豊かにし、平和な時代の象徴としてのオリンピックを開催できるまでの力のある国として世界に認めてほしいという願いがこめられている。									
4. 本時の学習をふり返り、次時の学習について見通しをもつ。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 街の様子がまた大きく変化している。くらしの様子だけではなく、社会の様子も変わったのだろうか。 </div>	【思】 当時の国民の願いについて、国民主権の確立、国際的地位の向上、国民生活の向上を関連付けながら考え、表現している。 (発言、ノート) ○ 東京オリンピック後も日本が経済的・国際的地位など、大きく発展している様子に関心をもつことができるように、現在の国立競技場の写真を提示する。								

本時2 いかす段階 第1時 (於：6年1組教室)

- (1) **主眼** 1964年以降の「社会の変化」「外国との関係の変化」「国民生活の変化」について調べたことを発表し合ったり、2020年の東京オリンピックに向けた世界の人々へのメッセージを考えたりする活動を通して、これからの日本の在り方について戦後のあゆみにおける3つの視点と関連付けながら考えることができるようにする。
- (2) **準備** 1964年東京オリンピックの写真
2020年東京オリンピック・パラリンピック予想図、ホワイトボード、付箋
- (3) **展開**

主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点 【観点】 評価規準 (評価方法) ★ 特別な教育的支援を要する児童への特に困難とされる場面での支援のポイント
<p>1. 本時の学習のめあてを確認する。</p>  <p>1964年東京オリンピック後の日本の社会はさらに変化している。</p>	<p>○ 1964年の東京オリンピックのメッセージを考える学習を想起させ、本時は友達の発表を基に2020年の東京オリンピック・パラリンピックのメッセージを考えることを確認する。</p>
<p>(めあて) 2020年東京オリンピック・パラリンピックで、わたしたちは世界にどのようなことを伝えるべきか、調べたことをもとに考えよう。</p>	
<p>2. 調べたことを発表し合う。</p>	<p>○ 調べたことについて、「社会の変化」「外国との関係の変化」「国民生活の変化」の視点から発表するようにする。</p> <p>○ 1964年の東京オリンピック前後の特色をつかむことができるように、開催前後を比較しながら友達の発表を聞き、3つの視点と結んで考えたことをノートに記述するよう助言する。</p> <p>★ 手だて③ 机間指導の際に、A児、B児には友達の発表の大切なところを板書の中で視覚的に示して考えるように助言する。A児には、必要に応じて考えの例を示すようにする。</p>
 <p>戦後日本は一度も戦争をしていない。平和は守られている。しかし、自然災害や高齢化など課題も多い。</p>  <p>韓国や中国と国交が回復したが、残された課題もある。</p>  <p>エアコンや自動車が普及し、さらに豊かな生活になったが、一方で、公害など環境に悪影響が出ている。</p>	
<p>3. 友達の発表を基に、グループで気付いたことを話し合い、2020年の東京オリンピック・パラリンピック時に生きる国民の一人として世界に伝えたいメッセージを考える。</p> <p>4. グループで考えたメッセージについて、全体で話し合う。</p>	<p>○ 1964年東京オリンピック以降の変化について、2020年東京オリンピック・パラリンピックで特に主張したいことを考え、メッセージとして作成するようにする。</p> <p>◎ ノートに記述した自分の考えを付箋に書いて出し合い、分類整理して、3つの視点を統合して考えるようにする。</p> <p>【思】 これからの日本の在り方について、戦後のあゆみにおける3つの視点と関連付けながら考えている。(発言、メッセージ)</p> <p>○ メッセージの根拠となっていることを話し合い、メッセージとして認められるものになっているか考えるようにする。</p>
 <p>日本は過去の歴史を反省して、平和を維持してきた。しかし近年は東日本大震災など自然災害に苦しむ人も多い。今みんなで助け合い復興に向かって努力している。これからは日本は平和な社会をつくっていく。</p>  <p>日本は韓国や中国と友好関係を築く努力をしてきた。世界で活躍する日本人も多く、誇りだ。これからは世界の国々と仲よく協力して、課題を解決していきたい。</p>  <p>わたしたちの生活はとても豊かになった。しかし環境問題が生じ地球を大切にしなければならぬ。</p>	
<p>(まとめ) 日本は、現在まで平和を維持し世界でも有数な豊かな国となり、国際社会の中で重要な役割を果たしてきた。しかし、これから解決すべき課題も多く残っている。これからの日本は他の国と友好的な関係を築き、さらに平和で豊かな社会をみざしていくことが大切だ。</p>	
<p>5. 本時の学習をふり返る。</p>	<p>○ 戦後から現在までをふり返り、「社会の変化」「外国との関係の変化」「国民生活の変化」の視点について、学習前と学習後の自分の変容について記述するようにする。</p>